

PM による研究開発プログラムの見直しについて

平成 29 年 3 月 9 日
革新的研究開発推進プログラム担当室

(ポイント)

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) の平成 28 年度の進捗管理として、全 16 名の PM を対象に、PM による研究開発プログラムの進捗状況及び研究費増額を含むプログラムの見直しの必要性について集中レビュー会にてヒアリングを行った。

研究費増額の見直しの要望があった 5 名の PM について、有識者会議 (佐野、佐橋 PM : 平成 29 年 2 月 16 日開催、田所、山川、原田 (博) PM : 平成 29 年 2 月 23 日開催) で、PM から見直し案の報告を行ったうえで、各 PM に関する研究開発プログラムの見直しをご審議いただき、見直し案を取りまとめたところ。本日は、この 5 名の PM に関する研究開発プログラムの見直し案の承認についてお諮りするもの。

1. 集中レビュー会の実施

ImPACT における研究開発プログラムの進捗管理については、「革新的研究開発推進プログラム運用基本方針取扱要領」(平成 26 年 2 月 27 日革新的研究開発推進会議)により、レビュー会にて PM からヒアリングを行うこととしている。全 16 名の PM を対象として、研究開発プログラムの進捗状況及びプログラムの見直し(平成 29 年度以降の研究費総額の見直しを含む)の必要性についてヒアリングを行う集中レビュー会を実施。

(開催状況)

開催日 : 平成 28 年 10 月 25 日、10 月 31 日、11 月 1 日、11 月 18 日、11 月 25 日、
12 月 12 日

出席者 : 有識者議員

外部有識者 (ImPACT アドバイザー (参考 1) : PM のマネジメントや出口戦略等の観点から、有識者議員の判断の参考となるアドバイスを行う。)

PM からの報告内容 :

プログラムの進捗状況及び自己評価。プログラムの見直し及び研究費総額の変更を要望する場合は、その必要性についても説明。

2. 16 名の PM の研究開発プログラムの見直しについて

集中レビュー会でのヒアリングに基づき、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発に取り組んでいるか、出口戦略 (産業や社会のあり方を変えるためのシナリオ) は明確になっているかという視点を踏まえ、有識者議員と事務局がとりまとめた 7

名の PM に関する研究開発プログラムの見直し案を有識者会議（1月19日）において確認いただいたところ。その後の進め方については以下のとおり。

（1）伊藤 PM、野地 PM について

研究開発プログラムの見直し案について、1月26日開催の推進会議にて PM から説明を行い、審議のうえ承認いただいた。伊藤 PM については、追加資料の提出が求められ、伊藤 PM から報告があったところ。

（2）研究費総額の増額を検討している5名の PM について

有識者会議にて PM による見直し案の説明及び、有識者議員による見直し案の審議を行い、推進会議で承認いただく。

- ・ PM からの説明及び審議（有識者会議）

2月16日：佐野 PM、佐橋 PM

2月23日：田所 PM、山川 PM、原田（博） PM

- ・ 研究費総額の増額に関する承認（推進会議）

3月9日：佐野 PM、佐橋 PM、田所 PM、山川 PM、原田（博） PM

佐野 PM については、追加資料の提出が求められ、佐野 PM から報告があったところ。

（3）上記7名以外に研究費総額の増額を検討している PM について

プログラム見直しの必要性について引き続き有識者議員と検討を行い、今後、7名の PM と同様に、審議いただく。

（4）研究費総額の見直しを行わない PM について

集中レビュー会での指摘等を踏まえ、既定の研究費総額の範囲内で適宜研究開発プログラムの見直しを実施し、今後、有識者会議にて報告を行う。

以 上